

◎『秋』を読んでみよう。()があるところをは、()のところを読もう！

秋は夕暮れ。

(チ)

夕日のさして 山の端 いと近うなりたるは、鳥の 寝どいへ行くとして、

(ハ)

三つ四つ、二つ三つなど 飛び急ぐさへ あはれなり。

(オ)

まいて、 雁などのしらねたるが、いと小さく見ゆるは、いとをかし。

ね

(ク)

日入りはてて、 風の音、 虫の音など、 はたいびきにあらず。

() 1 (筆者は『秋』のどんな様子がよいと感じていますか。情景を想像しながら音読し、書きましよう。

◎『冬』を読んでみよう。()があるところをは、()のところを読もう！

冬はしとめて

(カ)

雪の降りたるは、いびきにあらず。 霜のいと白きも、 またさらでも、

も わた

いと寒きに、 火など急ぎおいて、 炭持て渡るも、いとじきじきして。

おけ

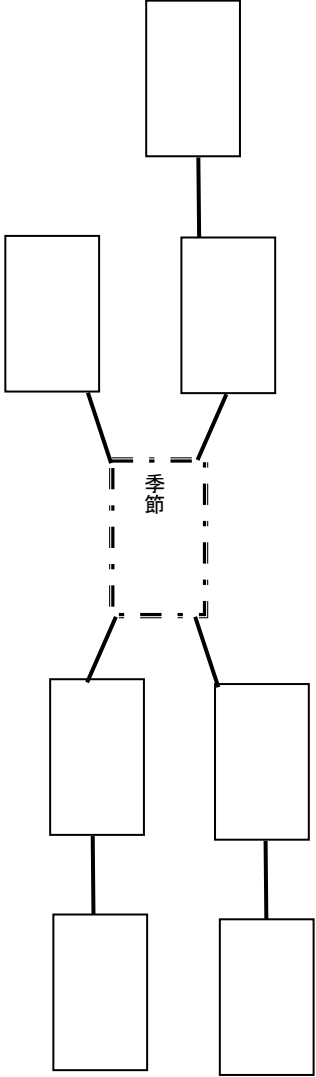
屋になりて、 ぬるく ゆるびもていけば、 火桶の火も、 白き灰がらになりて わろし。

() 1 (筆者は『冬』のどんな様子がよいと感じていますか。情景を想像しながら音読し、書きましよう。

◎わたしの「枕草子」を書こう。

(1) まずは季節を決めよう。

(2) その季節から想像する言葉(言葉マップ)をたくさん書いてみよう。(教科書27ページを見よう。)



(3) 「言葉マップ」の中から選んだ言葉を使って、「私の枕草子」を作ろう。

書く時のポイント！

- ①「夏は○○」の具体的な書き出しだと書きやすい！
- ②短い言葉で書いてみよう！
- ③昔の言葉(「をかし」など)を使ってみよう！

